

新型コロナウイルス感染症あかし支え合い基金の活用について

新型コロナウイルス感染症あかし支え合い基金への寄附金につきましては、令和4年4月から令和5年1月までの間に5,996万1,500円をいただき、令和3年度末基金残高と合計で、1億159万7,393円となっております。

寄附金については、全額をいったん基金に積み立て、3月補正予算に基金繰入金として、年度末までの基金残高見込額の1億2千万円を計上し、以下のとおり令和4年度に実施している新型コロナウイルス感染症対策に活用することを報告いたします。

1. 寄附金の受入状況について

区分		金額(円)
令和3年度末	基金残高	41,635,893
4月～1月の受入額	ふるさと納税寄附金 (2,386件)	(59,393,000)
	支え合い寄附金 (13件)	(568,500)
	合計 2,399件	59,961,500
令和5年1月末時点の受入額と基金残高の合計		101,597,393

2. 基金の活用用途について

(1) 令和4年度中の基金の取り崩し見込額 1億2,000万円

(2) 令和4年度に実施している事業への活用

基金の活用用途に従い、以下のように充当事業を予定しております。

活用用途	主な充当事業	活用予定額
1 医療体制の充実	新型コロナウイルス感染症対策事業 救急高度化事業(感染者搬送資機材の充実)など	10,000千円
2 市民生活の支援	市民全員・事業者サポート事業(第2弾) 学校給食支援事業など	60,000千円
3 感染拡大の防止	新型コロナウイルスワクチン接種事業 法定予防接種事業(高齢者インフルエンザ)など	30,000千円
4 その他	こども夢応援プロジェクト事業 学校情報通信機器運用事業(タブレット端末配備)など	20,000千円

※ 活用予定額は、寄附金の受入見込額や各事業の予算額を考慮して予定しているものですが、今後の執行実績に応じて変更する可能性があります。

3. その他

令和4年度の寄附金の受入額、基金活用額など最終的な活用結果について、出納整理期間後の令和5年6月議会での報告を予定しています。